

# 平成19年度事業報告書

・本年度における事業は、概ね平成19年度事業計画に基づいて実施し本会の目的達成に努力しました。

貸借対照表は、下記のとおりです。

摘 要	資産額	負債額	正味財産額
一 般 会 計	878,870,813 円	223,417,539 円	655,453,274 円
駐車場管理委託業務 契約特別会計	16,309,250 円	16,309,250 円	0 円

正味財産増減計算書は、下記のとおりです。

摘 要	経常(外)収益額	経常(外)費用額	当期一般正味財産増減額
一 般 会 計	1,397,515,775 円	1,397,769,470 円	253,695 円
駐車場管理委託業務 契約特別会計	58,064,221 円	58,064,221 円	0 円

財産目録は、下記のとおりです。

摘 要	資産額	負債額	正味財産額
一 般 会 計	878,870,813 円	223,417,539 円	655,453,274 円
駐車場管理委託業務 契約特別会計	16,309,250 円	16,309,250 円	0 円

収支計算書(一般会計)は、下記のとおりです。

摘 要	収入額	支出額	収支差額
事業活動収支の部	1,397,515,775 円	1,405,725,707 円	8,209,932 円
投資活動収支の部	52,000,000 円	29,928,493 円	22,071,507 円
財務活動収支の部	0 円	0 円	0 円
当期収支差額			13,861,575 円

収支計算書（駐車場管理委託業務契約特別会計）は、下記のとおりです。

摘 要	収入額	支出額	収支差額
事業活動収支の部	58,064,221 円	58,064,221 円	0 円
投資活動収支の部	0 円	0 円	0 円
財務活動収支の部	0 円	0 円	0 円
当期収支差額			0 円

なお、キャッシュ・フロー計算書は、19頁に示したとおりです。

## ・事業の内容

### 大学病院支援事業等経費【事業総額 17,810,917 円】

#### 1. 医学の研究に関する奨励及び助成：事業額 6,500,000 円

本会設立の主要目的の一つである医学の研究に関する奨励及び助成には、従来からその目的遂行に努力してまいりました。

平成19年度は、前年度同様医学研究費を北海道大学病院に助成しました。

#### 2. 患者の慰安及び支援：事業額 6,420,917 円

北海道大学病院の患者の慰安及び支援を図ることも本会設立の主要目的の一つです。本年度は下記のとおり実施しましたが、特に平成19年度は、患者サービス充実経費を新たに設定し、北海道大学病院患者サービス推進委員会との連携を密にし、新しい患者サービス支援事業の展開にも対応できるようにいたしました。さらに、平成19年4月に病院職員の労働環境改善をとおして優秀な人材確保を図る目的で設置された「北大病院保育園ぽぷら」への助成を北大病院からの要請により実施いたしました。

- (イ) 患者サービス充実経費助成
- (ロ) 温室管理経費助成
- (ハ) 温室花鉢植栽経費助成
- (ニ) 外来植木鉢借上管理経費助成

- (ホ) 患者慰安写真展経費助成
- (ヘ) 患者慰安花卉展経費助成
- (ト) ボランティア経費助成
- (チ) ふれあいコンサート及び看護の日等行事実施経費助成
- (リ) 北大病院保育園ポプラ行事実施経費助成
- (ヌ) 患者慰安淡水魚等維持経費
- (ル) 精神科神経科病棟生け花及びファミリーハウス盛花等経費
- (ヲ) 入院患者慰安用品贈呈経費
- (ワ) BGM放送に使用するCDの経費
- (カ) 精神科神経科入院患者小遣い管理経費

### 3. 職員及び学生の学事研修に対する奨励：事業額 1,890,000 円

北海道大学医学部、歯学部及び北海道大学病院の学生並びに職員の学事研修に対して下記のとおり助成しました。

- (イ) 教育奨励費を助成
- (ロ) 看護師研修会発表原稿収録集経費の一部を助成

### 4. 北海道大学医学部創立90周年記念事業助成：事業額 3,000,000 円

北海道大学医学部は、平成21年に創立90周年を迎えるにあたり、平成18年11月から記念施設「北海道大学医学部会館（フラテ会館）の建設等記念事業を計画しています。

本会にもその記念事業実施の支援要請があり、援助額等を検討した結果、2年度に分けて総額500万円を助成することとし、平成19年度は一期目の助成として300万円の助成を行いました。

### 患者、職員等必需品供給事業経費【事業総額 1,244,526,980 円】

北海道大学病院の患者、職員、学生及び見舞人等の皆様の利便を図るため利用者ニーズに合わせた安価で良品質の品揃えや、日常必要とするものを取り揃える等、その事業

を下記のとおり実施しました。

(イ) 販売業務

医科及び歯科の売店の商品を充実させるとともに、特売日、特売品等を多数取り揃え、価格の低廉化に向けた取り組みを行い、利用者の利便性・サービス向上に努めました。さらに病棟での移動販売も多数の商品を揃えて実施し、病棟閉鎖時には、注文商品のお届けサービスも行っております。

また、サービスコーナー・薬店においては、患者サービスの観点から診療科より要望が出された医療用用具・用品等を十分な在庫を行い、適正価格で販売できるように努力し、また、専任の薬剤師を配置し薬の相談を受け付け、サービスの向上を図っています。

(ロ) 食堂業務

患者、職員及び学生等の利便性を考慮し、献立の充実及び食材の質の向上に努力するとともに、土・日・祝日の営業を充実させ、見舞客や患者、職員の歓談の場となるようサービス向上を図りました。

また、会議用弁当の提供やオードブルの提供は、量・質ともに充実を行いサービス向上を図りました。

なお、歯科食堂については、平成18年度4月に医学部食堂がオープンし、さらに同年5月に歯科入院病棟が医科病棟内に移転したことに伴い、利用者が大幅に減少し、今後も利用客の回復が望めないことから、止むを得ず平成19年8月31日で閉店いたしました。

(ハ) 薬品業務

北海道大学病院の門前薬局として、院外処方箋により調剤業務と服薬指導を行うとともに、提供薬剤等の種類を拡大し、さらに薬剤師の研修等に積極的に参加させ、北海道大学病院を訪れる外来患者の利便を図るよう努力しました。

(ニ) 用達業務

入院患者へのサービス向上のため、貸付テレビ及び洗濯機・乾燥機等のメンテナンスを充実させるとともにサービスコーナーにおいて下記の業務を行い利便を図りました。

また、使用済テレビカード5枚(5,000円)につき500円を還元するサービスや患者サービスの向上のため土曜日営業を継続実施しております。

なお、従来から行っています入院患者付添人への寝具貸付については、平成19年8月からサービス内容を充実させ、簡易ベッドを含めた寝具貸付を行うようにいたしました。

- (1) 入院患者付添人への簡易ベッド及び寝具貸付
- (2) 特別病室の電話貸付
- (3) プリペイドカード使用によるテレビ・洗濯機及び乾燥機の貸付
- (4) コールドロッカー貸付
- (5) 公衆電話
- (6) 電報受付

(ホ) 福利厚生施設として、本会で直接経営することが困難な下記の業務を委託し、業者に対して指導監督に努め利用者の利便性を図りました。

- (1) 理容業務
- (2) 美容業務
- (3) 乳製品販売業務
- (4) 歯科材料販売業務
- (5) 洗濯物取扱業務

(ヘ) ファミリーハウス

ファミリーハウスの管理業務を実施し、ファミリーハウスを利用する付添家族に居心地の良さや利用しやすい環境維持に努めました。

(ト) 精神科預かり金管理業務

この業務は、本来病院として行うことになってはいますが、公金以外の現金の取扱が病院では難しいことから本会が無償で行っています。

平成19年度においても精神科入院患者様ご家族から、患者様が入院生活上不便を来さないよう依頼を受けて、日用品の購入、嗜好品の購入、理容・美容等のいわゆる「おこづかい」をお預かりして、現金管理及び業者支払を行って、患者サービスの充実に努めています。

(チ) その他

患者、職員、学生及び見舞い人等の利便性を考慮し、FAX及びコピー機の設置宅配取り次ぎ業務を行っており、平成19年度も継続して行いました。

また、院内感染防止対策から外来及び病棟へのマスク自動販売機によるマスク販売や、クリスマスの時期には入院患者全員へのプレゼントサービスを継続して実施いたしました。

**駐車場管理委託業務契約特別会計：事業総額 58,064,221 円**

北海道大学病院と「駐車場管理業務」の直接委託契約を締結し、病院構内の安全管理及び環境保全に尽くしました。

なお、平成19年度分の収益金額8,729,522円は、北海道大学へ納付しました。